

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760地区 REPORT

CREATE HOPE in the WORLD

世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー



2023-2024年度

会長/桑山卓也 幹事/内間三好 広報委員長/田尻幹夫

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/名古屋東急ホテル

〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8 TEL:052-251-2411

2023~2024年度方針

2023 August 22 親睦で育む自他共栄 奉仕の機会 今ここに 照一隅

NO. 6

例会報告

- 第2438回例会 令和5年8月22日(火) 曇
- 8月は会員増強・新クラブ結成推進月間
- 酒井 法丈 国際ロータリー第2760地区ガバナー 公式訪問日
- 名古屋名東RC・東山RC・和合RC 合同例会 (ホストクラブ 名古屋名東RC) 場所/名古屋マリオットアソシアホテル
- ロータリーソング それでこそロータリー
- 出席報告 会員 85名中 (70) 出席37名 出席率52.86%
- ゲスト紹介 国際ロータリー第2760地区 酒井 法丈 ガバナー(豊田RC) 杉浦 敏夫 地区幹事(豊田RC)

ニコボックス

「酒井法丈ガバナー、杉浦敏夫地区幹事のご来訪を心より歓迎致します。名東クラブさん、お世話になります。」

桑山卓也君、田中正次君、内間三好君、小池康資君、福田哲三君、加治佐健二君、川崎利男君、久保哲政君、山本秀樹君、加藤智弘君、亀井敏勝君、田尻幹夫君、黒田史郎君、山田和弘君、槇野智之君、石川一郎君

本日のニコボックス	1件	32,000円
累計	32件	347,000円

名古屋名東ロータリークラブ 野々部英夫 会長挨拶

皆さま、こんにちは。名古屋名東ロータリークラブ・会長の野々部英夫でございます。宜しくお願いいたします。

酒井ガバナーが発表されました地区方針の中で、大変印象深いお話がございました。まずはその箇所をご紹介させていただきます。

【「あなたは、何故ロータリアンですか」と問われたら、どう答えるでしょうか。困惑するのではないのでしょうか。では「ロータリー及び、所属するクラブは好きですか」と問われたらどうでしょう。殆どの人は好きと答えるでしょう。だから、あなたはロータリアンなのです。】

大変、心に響きます。このお言葉を参考にさせていただき、会員増強について、当てはめてみますと、もし、ロータリーのことを知らない人から「なぜロータリアンなのですか?」と聞かれ、すぐに「好きだからです!」と答えたらどうでしょう。

おそらく、聞いてきたその人は“こんなに胸を張って「好き」と答えるぐらいだから、ロータリーとは、余程の魅力がある所なんだろう”と興味を持たれると思うのです。

そのあと相手が「では、どんなところが好きなのですか?」と聞いてきてから、私たちの活動内容を話せば、すでに興味を持ち始めた相手は、積極的に耳を傾けてくれることと思います。

今後もずっと、会員増強は重要な課題となりますが、“ロータリーが魅力的である”ということを伝えるには、「クラブが好き」という気持ちがあってこそ、説得力ある話ができると思います。

急がば回れと言いますが、「充実した例会、意義ある奉仕」を目指していくことが、とても重要であると考え、ガバナーのお言葉から、今年度当クラブの方針を決めていくヒントをいただきました。

ガバナー、ありがとうございました。

最後に、名古屋和合ロータリークラブ、名古屋東山ロータリークラブの、ますますのご発展と、3クラブのさらなる友好関係を祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。今後とも何卒、宜しく願い申し上げます。

名古屋東山ロータリークラブ 久野洋一 会長挨拶

皆様こんにちは。私は名古屋東山RC第27代会長「久野洋一」と申します。我がクラブの本年度のテーマ「会員増強を行い！新しい仲間をたくさん作ろう～楽しいクラブにしよう～」をテーマに活動しております。

奉仕活動は2つの継続事業を軸に行っていますが、コロナ禍も影響し、5年前に32名いた会員数が現在25名。まずは会員数を元の32名に戻す工夫をしていきたいと考えております。

十分な例会、親睦活動が出来ていない状況でもありましたので、例会の在り方も工夫して、新しい仲間が来た時に「楽しいクラブ」だな!と思っていただけのように少しずつではありますが、クラブ一丸となって取り組んでいます。

本日は、酒井ガバナーの卓話を本当に楽しみにしております。何か持ち帰りクラブ運営に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

名古屋和合ロータリークラブ 桑山卓也 会長挨拶

皆様こんにちは。和合ロータリークラブの会長を務めます桑山卓也です。

本日はガバナー、地区幹事、スタッフの皆様にはクラブ訪問ありがとうございます。また名東クラブの皆様には、今日の合同例会を設営いただきありがとうございます。そして会員の皆様には、かくも暑い中ご参加いただきありがとうございました。

ロータリーの友情と親睦を通じて、社会に良いことを成していけることを念願しています。

さて「一隅を照らすものは国土なり」と申します。最澄の言葉ですが、当クラブでは各委員会が主導して色々な社会奉仕に取り組み、地域の方々の希望に叶う活動を展開しています。また、RFF、ポリオ撲滅への協力、ウクライナはじめ各地への奉仕の機会を得ること等を通じて、国際奉仕にも参加しています。

昨年、フィリピンのサンフランシスコ デルモンテクラブと友好関係の協定を結び、本年9月には先方を訪問し更に、友好関係を深めたいと思います。

最後に本例会が皆様の絆を深め、ロータリーライフを豊かなものに資することを願って、ご挨拶いたします。ありがとうございました。

卓 話

国際ロータリー第2760地区 2023-24年度
酒井 法丈 ガバナー



RI会長
ゴードン R. マッキナリー氏
メッセージより

深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人びとのために働き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。

だからこそ、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけているのです。

研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。

そして心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができるようになります。ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌づくりです。

平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人とのつながりと目的意識が、あらゆるロータリー会員を奮立たせてくれることでしょう。

素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上ない居心地のよい、これ以上ない魅力的なクラブを築きあげましょう。

〈酒井私見〉

「言い換えれば、魅力的なクラブは居心地がいい、居心地がいいから会員を維持することができ、

入会候補者もロータリーに関心をもってくれる。」

クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。だれもが自分らしくいられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづける必要があります。「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第なのです。

RIの重点事項

- ポリオプラスプログラム
- メンタルヘルス
- 女児のエンパワメント

ビジョン声明からDEIについて

自身の中での「ロータリー像」について問いかけます。

- ①なぜロータリークラブに入会しましたか？
- ②ロータリークラブの会員とはどのような人達ですか？
- ③ロータリークラブはどのようなことをしているのですか？
- ④なぜロータリークラブ会員であり続けているのですか？
- ⑤あなたのクラブを代表する活動は何ですか？

以上五つの事を自身に問いかけてビジョン声明を考えてください。

〈ビジョン声明〉

「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指します」

〈ビジョン達成のための行動計画〉

- I より大きなインパクトをもたらす
- II 参加者の基盤を広げる
- III 参加者の積極的なかかわりを促す
- IV 対応力を高める

このIからIVまでの行動計画は皆さんに問いかけた「ロータリー像」の中にヒントがあります。Iは⑤に、IIは①②に、IIIは③に、IVは④につながります。

- ・Iのインパクトをもたらすために、新たな方法を探りましょう。
- ・IIの基盤を広げるには、一緒に活動できるようにつながりと機会をつくり出しましょう。
- ・IIIの積極的なかかわりを促すためには、ニーズを知りそのニーズに応える活動を実行しましょう。
- ・IVの対応力を高めるには、日常では得ることの

ない価値観、事象に触れましょう。

〈DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)〉

- ・多様性は、ロータリー創立からの価値観として存在していたが、表層的な多様性ではなく、深層に思い致した対応が重要。
- ・公平さは、世代やジェンダーを超えた関係性を生み出せるかどうかが鍵となる。
- ・インクルージョンは、感覚ではなく、実際の言行に生かすことが望まれる。

プライド、ブランドとは

親睦と奉仕は、ロータリーの両輪の如く言われますが、実は一つの大きな「輪」としてとらえ、親睦が自身の成長する機会を得る事ができ、奉仕からは心の豊かさを育てることができる、これがロータリーの魅力ではないでしょうか。

よって、プライドは我々ロータリー会員がクラブに対し帰属意識が生まれることにより誇りとなり、ブランドはクラブにおいて自身の居場所があり、居心地がよければクラブに愛着が生まれ、クラブのブランド力が上がるものと考えます。

お願い

- 1、ロータリー財団への寄付
- 2、地区大会への参加
- 3、RFF(ロータリー・フード・フェスティバル)への積極的な参加(チケット・企業協賛)
- 4、世界大会でのガバナーナイトへの参加



例会	月日	今後の予定
第2440回	9.6	田口泰子様 「sweet yasukoをオープンするまで」
	9.13	休会
第2441回	9.20	VATICAN 稲垣諒一様
第2442回	9.27	日本舞踊工藤流 工藤倉健様